

令和2年度第1回山縣市公共交通会議 議事録

日 時 令和2年7月7日（火）午後2時00分～

場 所 山縣市役所 3階 大会議室

会長あいさつ

○会長：新型コロナウイルスによる仕事への影響は、各方面で非常に大きくなっています。山縣市でも、定期バス利用は4割程度、タクシー利用は5割程度まで減少しています。今後の運営に不安もありますが、今を乗り切らなければ未来はありませんし、来年度までに平常に戻っていかねばなりません。市としても来年度の財政は減収が見込まれています。

山県バスターミナルは、2021年3月に完成予定です。これに合わせて、ハーバス、デマンド型交通を含め全路線の見直しを行うとともに、岐阜大学病院線など新規路線も含め、公共交通が市民に重要なものとなるように検討を進めています。通院、通勤・通学など、様々な視点からご意見をお聞かせください。

報告事項1 前回からの経過報告

○事務局：(資料1の説明)

報告事項2 市民アンケート調査 調査結果について

○事務局：(資料2の説明)

報告事項3 バスターミナルの整備について

○事務局：(資料3の説明)

協議事項1 市町村運営有償運送（市町村福祉輸送）の更新について

○事務局：(資料4の説明)

○委員A：バスターミナルの整備により利用が増え、周辺の賑わいにつながると良いと思います。バスターミナルにおいて、タクシー乗り場や貸切バスの乗り入れは想定されていますか。

福祉輸送は一度更新されると3年間有効となりますが、これまでに大きな事故などはありませんでしたか。コロナ対策や安全に関して取り組みがあれば教えてください。

○事務局：タクシーの乗降は、国道256号側の駐車場を想定しています。バスター

ミナルへの乗り入れは一般乗合バスのみで、貸切バスは想定していません。

○事務局：過去3年間事故は発生していません。

コロナ対策としては、車内に透明フィルムの貼り付けを行っています。

福祉輸送は長年継続しているため、危機管理意識もあり、運行管理体制もしっかりと整っています。

○委員A：バスターミナルでは、バリアフリー対策は検討されていますか。

○事務局：施設内の段差解消や専用駐車場の配置などに配慮しています。

○委員B：バスターミナル駐車場への電気自動車充電スタンドの設置は検討されていますか。市外への通勤で無料駐車場を利用できるなら、パーク&バスライド中に充電できると便利だと思います。

○事務局：今のところ充電スタンドの設置は予定していません。

○会長：この件について、承認してよろしいか？

○委員：(異議なし)

協議事項2 令和元年度決算について

○事務局：(資料5の説明)

○会長：この件について、承認してよろしいか？

○委員：(異議なし)

協議事項3 令和2年度予算(案)について

○事務局：(資料6の説明)

○会長：この件について、承認してよろしいか？

○委員：(異議なし)

協議事項4 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

○事務局：（資料7の説明）

○会長：この件について、承認してよろしいか？

○委員：（異議なし）

協議事項5 山県市公共交通網の再編方針の決定について

○事務局：（資料8の説明）

○委員C：便ごとの利用者数を理由にハーバスを減便・統合されるとのことですが、減便対象・統合対象の便の利用者数はどれくらいですか。

○事務局：ハーバスの便別利用者数は、参考1の資料に整理しています。減便対象は、大桑線で便別利用者数が1.0人未満となっている便です。統合対象は、伊自良線で前後の便と運行間隔が近い便です。

○会長：岐阜大学病院線の案①、案②のように、方針が定まっていない路線がありますが、今後どう進めていきますか。

○事務局：詳細な時刻表やバス停位置などは、今後地元説明や事業者協議で決定していきます。9月末～10月に第2回公共交通会議を開催し、そこで運行計画を提示し、最終決定する予定です。

○会長：この件について、承認してよろしいか？

○委員：（異議なし）

その他1 市内公共交通運賃について

○事務局：（資料9の説明）

○会長：運賃や割引制度は、市民の皆さんにとって身近な問題となります。市としても慎重に検討しているところですが、9月までに決定していくためにご意見をお聞かせください。

○副会長：資料8で路線再編した場合の運行経費を試算されていますが、ここに運

賃値上げ等による運賃収入の増加は加味していますか。

○事務局：資料8の試算は、収入や補助金を含めていません。運賃値上げによる収入増の試算は、これから行っていきます。

75歳以上無料制度の見直しは、新規路線を運行しても運賃収入が一切入らない可能性が出てきたことも理由の1つです。現在ハーバス伊自良線では、利用者の年齢が上がり、利用者数は増えているのに運賃収入は減少するという現象が発生しています。市内で完結している路線を無料対象路線としているため、市街地巡回線と美山地域デマンド型交通もこの対象となります。

○会長：値上げや無料制度の廃止を行っても、運賃収入への影響は微々たるものと予想されます。しかし、「利用者に平等な負担を」という点では、支払いを求めていきたいと思います。

○会長：再編方針や運賃について、意見なしでもすべてに賛成されているとは考えていません。意見を聞きながら、十分に市でも検討していきます。

その他2 今年度のスケジュール

○事務局：(資料10の説明)

○副会長：山口市は地域ごとに特性が異なり、運行形態も異なるため、全体をひとまとめにすることは困難です。これまでのように、十分に議論を行い、慎重に決定してほしいと思います。新規路線については、数年単位の社会実験としてスタートし、途中で見直すことも可能です。

新型コロナウイルスにより、海外では自転車移動が注目され、国内では自動車への転換の動きが出てきています。リモートワークなど新しい生活様式がどこまで定着するかにもよりますが、公共交通の役割を根本的に考え直す必要が出てくるかもしれません。

以上

